

# 54字の物語を作ってみよう

年 組  
名 前

★『54字の物語』は、1話を54字で表現する、新しいかたちの物語です。オリジナルの物語を考えて、原稿用紙に書いてみましょう。

## ●基本ルール

1. 文字数は54字ぴったりにおさめること
2. 句読点やカギ括弧も1字と数えること  
(ただし、最初の1マスは空けなくてよい)

▼食べたのはエビではなくて… (『54字の物語』より)

先	日	研	究	室	に	送	っ	て
く	れ	た	大	き	な	エ	ビ	、
お	い	し	か	っ	た	よ	。	話
は	変	わ	る	が	、	例	の	新
種	生	命	体	の	サ	ン	プ	ル
は	い	っ	届	く	の	か	ね	？

▼ぜんぜん反省していない! (14才・女子の作品)

「	金	返	さ	な	か	っ	た	ら
針	千	本	飲	ま	す	っ	て	言
っ	た	ろ	!	「	す	ま	な	
い	、	す	ぐ	針	千	本	買	っ
て	く	る	か	ら	、	金	を	貸
し	て	く	れ	な	い	か	？	「

## 作り方のコツ

- ① どんなテーマで物語を書くか決める。  
身近な出来事や、最近読んだ本、アニメやドラマをヒントにしましょう。
- 例：テスト勉強をする／友達が遅刻した  
家族で旅行に行く／釣りをしている
- ② テーマにそって「普通の物語」を考える。  
たとえば「釣りをしている」というテーマでは「魚が釣れた」物語が生まれます。
- ③ ②とは別の展開を考える。  
ちよっと不思議な出来事を入れると、物語がおもしろくなります。
- 例：魚ではない何か釣れた。
- ④ ③で考えた展開に対して、「どうしてそうなったのか？」を考えながら、字数を気にせずに物語を作る。  
推理ゲームをするように、考えてみましょう。想像力の使いどころです。
- 例：男が釣りをしている。大物が釣れたと思ったら、ゴム栓だった。それは海水を貯めておくための栓だったので、海水が全部なくなりました。
- ⑤ 54字ぴったりになるよう調整する。  
オチを全部説明せずに、読み手が想像をふくらませることができるよう書き方にする、印象的な物語になります。
- 例：数分間の格闘の末、彼が釣り上げたのは小さなゴム栓だった。世界中の海面が少しずつ下がりはじめたのはこの日からだ。

# 54字の物語


9×6

●メモ

54字の物語を作ってみよう

年 組  
名 前

## 「54字の物語を作ってみよう」プリントについて

- 1) 小・中学校、高校、大学（学校教育法の第一章第一条で規定される学校・いわゆる一条校）や、児童保育、児童館、公民館、図書館、療育施設、福祉施設、介護老人福祉施設での知育・学習・教育活動、および授業や宿題、自習や補習の教材などとしての利用に限り、プリントアウト（コピー）したものを無料で配付いただけます。上記に当てはまらないケースでの使用を希望される場合は、PHP 研究所 児童書出版部（☎03-3520-9635）までご連絡ください。
- 2) サイズは A4 サイズ、2枚で1セットです。縮小や拡大、両面印刷や、モノクロ印刷など、自由にご活用ください。
- 3) 「54字の物語を作ってみよう！」プリントを使用して「54字の文学賞」に応募される場合は、原稿用紙の下の空きスペースかメモ欄に下記を明記のうえ、郵送にてお送りください（作品は返却しませんので、必要な場合はコピーをお取り下さい）。

### ●明記いただく事項

- ・受賞時に公表する「ペンネーム」もしくは「本名」
- ・受賞時に公表する「タイトル」  
※タイトルはなくてもご応募いただけます。
- ・希望される部門「小学生の部」「中学生の部」「高校生の部」  
※該当部門がない場合は、明記していただく必要はありません。
- ・受賞時の連絡先（お電話番号／ご住所）  
※クラス単位、学校単位で応募される場合、封筒や別紙に連絡先（学校名、住所、ご担当の先生のお名前）をお書き添えいただく形でも、ご応募いただけます。

- 郵送先：〒135-8137 東京都江東区豊洲 5-6-52 PHP 研究所 児童書出版部 「第○回 54字の文学賞」 係

この部分には、ご応募時に投稿を受け付けている文学賞名を明記してください（例：「第4回 54字の文学賞」など）

- 開催中の「54字の文学賞」の「募集テーマ」をはじめとする詳細や、個人情報の取り扱いについては、『54字の物語』公式ホームページをご覧ください。 <https://www.php.co.jp/54ji/>

- 4) 「54字の物語を作ってみよう」プリントのダウンロードサービスは、予告なく終了する場合があります。